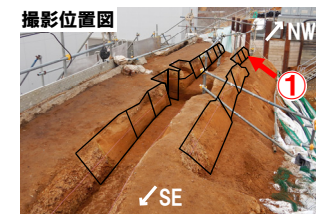


南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(1/14))-



令和2年3月撮影

拡大写真(小段部 海側壁面)①(解釈線なし)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(2/14)) -

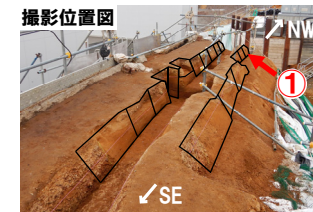
(凡 例)

- 盛土※基底面
 --- 陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層) 基底面

※盛土は陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)に比べ、以下の特徴が認められる。

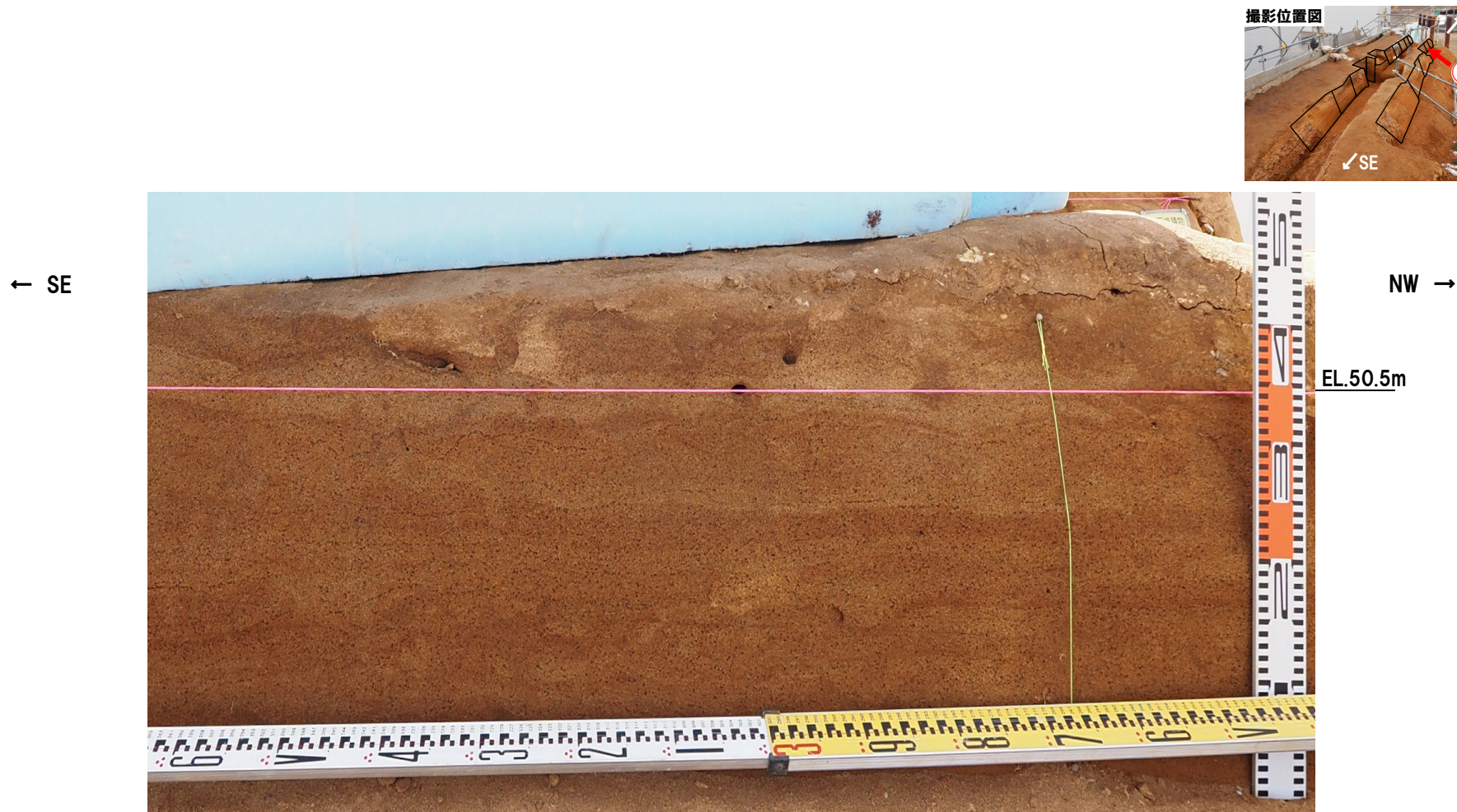
- ・シルトが比較的多い
- ・角礫が比較的多い(旧海食崖付近においては、差異は認められない)
- ・亀裂が発達する
- ・植物根が多く認められる

撮影位置図



拡大写真(小段部 海側壁面)①(解釈線あり)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(3/14)) -



令和2年3月撮影

拡大写真(小段部 海側壁面)②(解釈線なし)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(4/14)) -

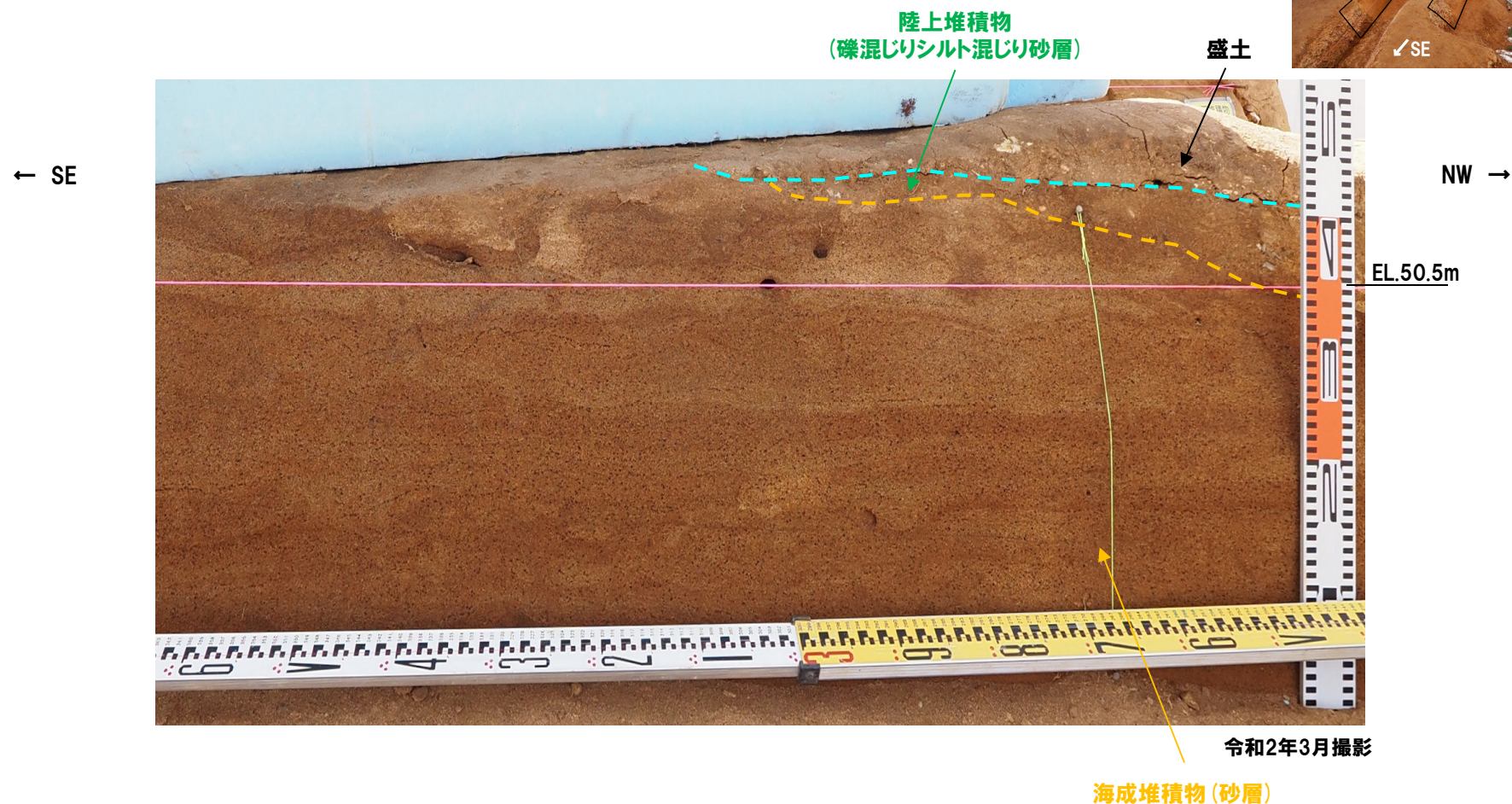
(凡 例)

- 盛土※基底面
 --- 陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層) 基底面

※盛土は陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)に比べ、以下の特徴が認められる。

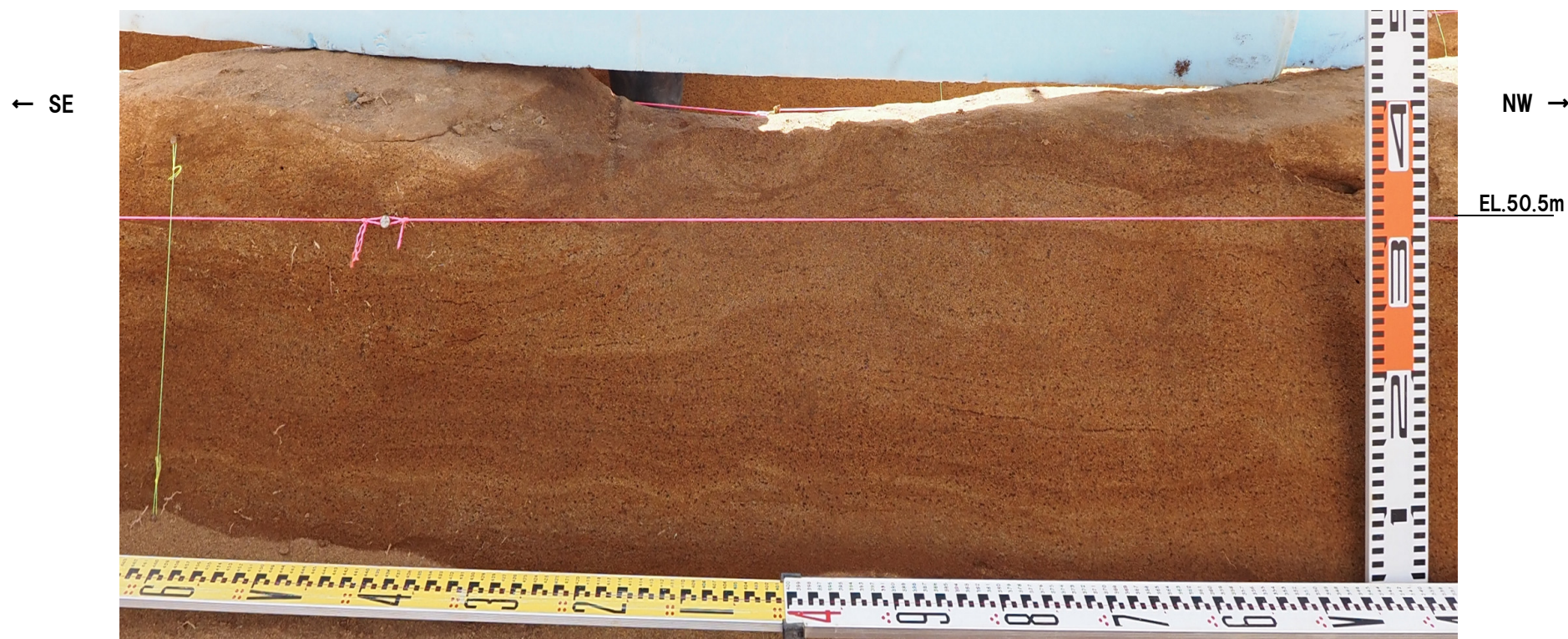
- ・シルトが比較的多い
- ・角礫が比較的多い(旧海食崖付近においては、差異は認められない)
- ・亀裂が発達する
- ・植物根が多く認められる

撮影位置図



拡大写真(小段部 海側壁面)②(解釈線あり)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(5/14))-



令和2年3月撮影

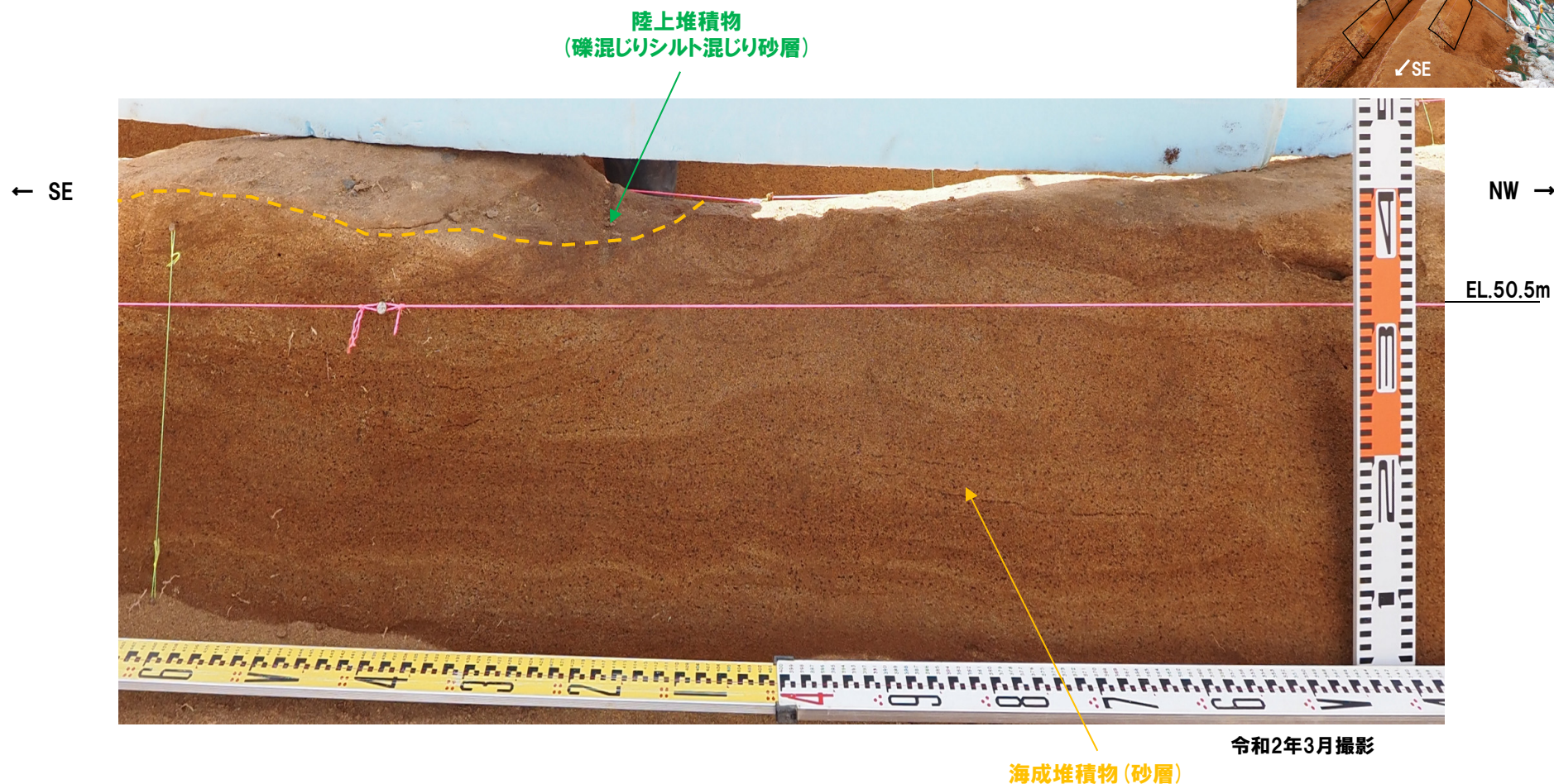
拡大写真(小段部 海側壁面)③(解釈線なし)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(6/14)) -

(凡 例)

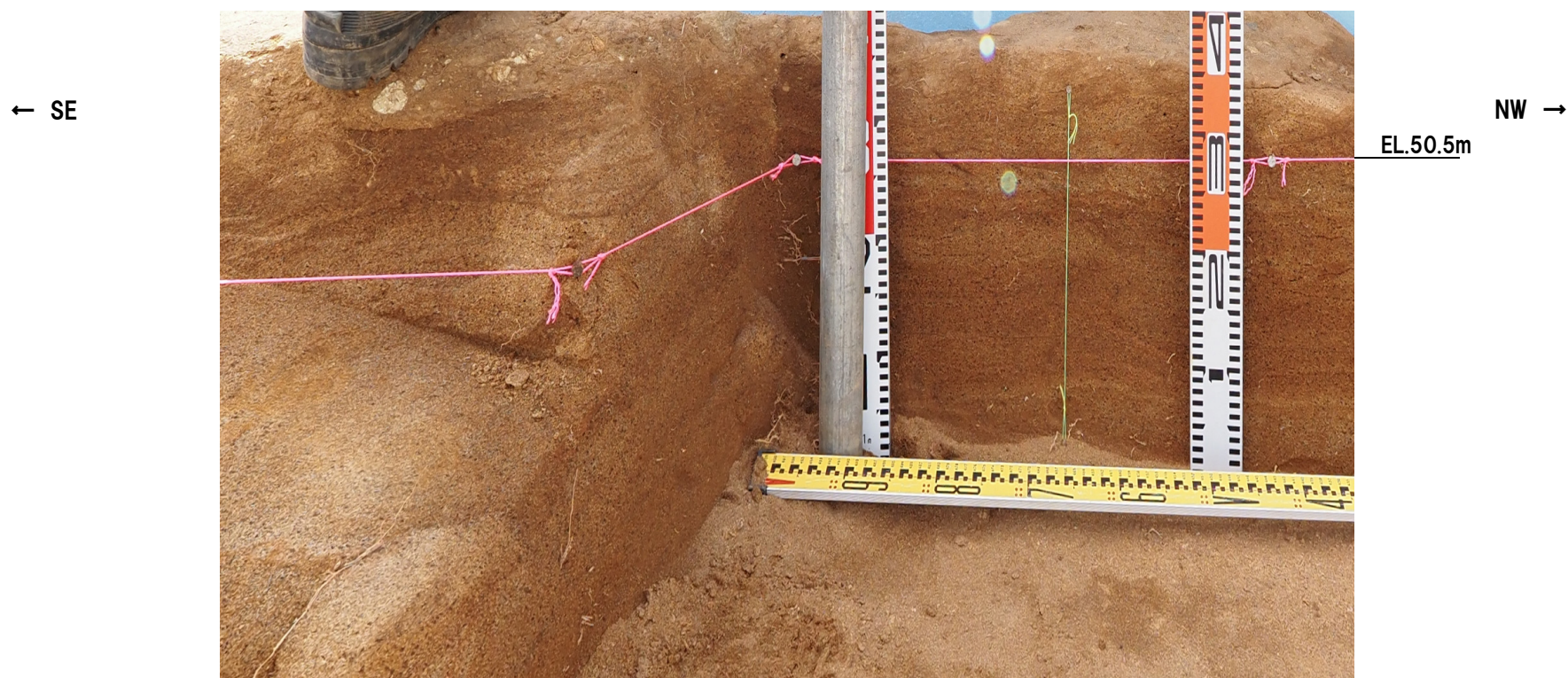
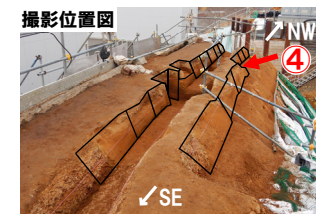
--- 陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層) 基底面

撮影位置図



拡大写真(小段部 海側壁面)③(解釈線あり)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(7/14)) -



令和2年3月撮影

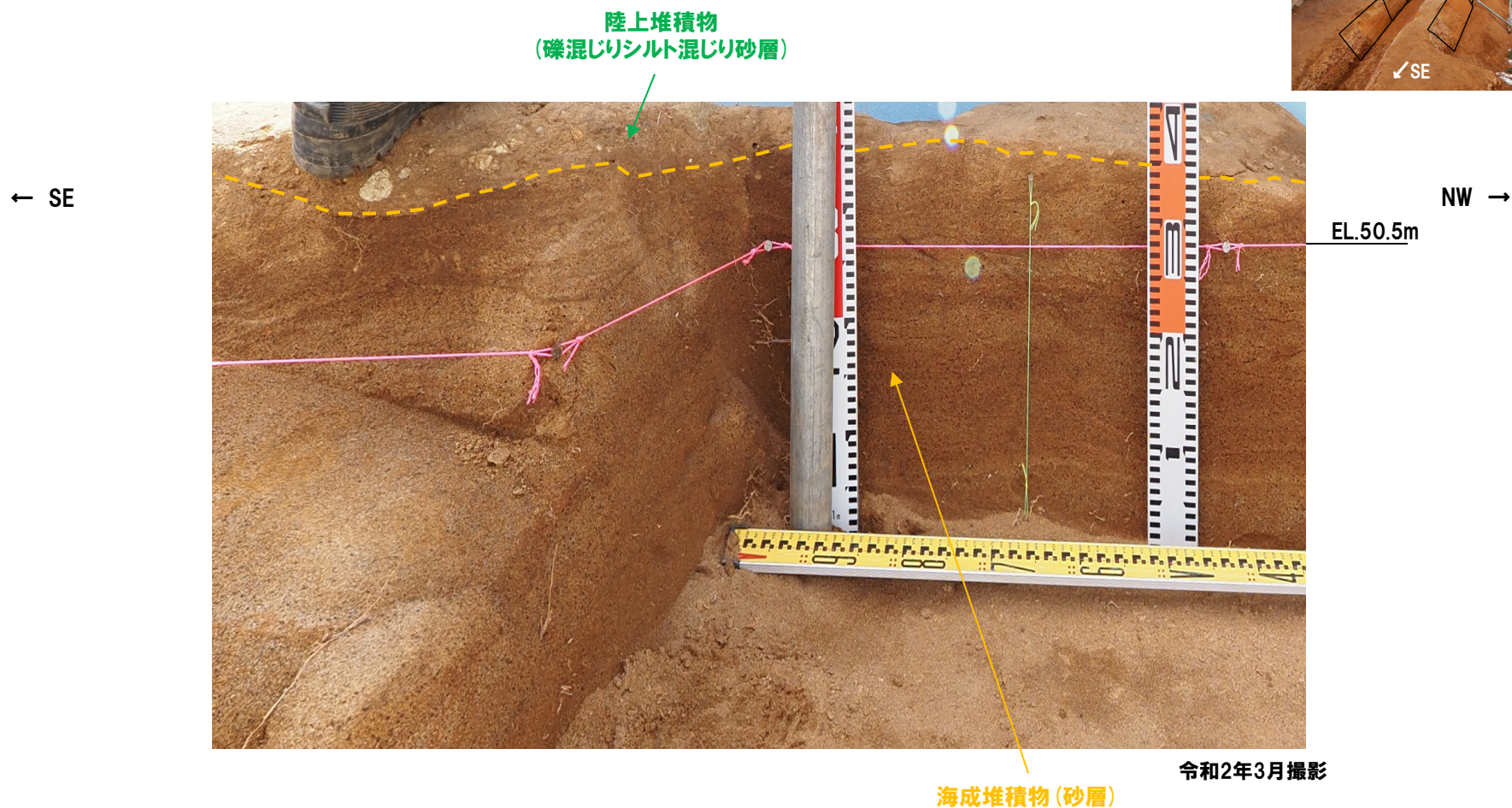
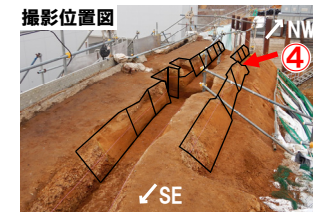
拡大写真(小段部 海側壁面)④(解釈線なし)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(8/14)) -

(凡 例)

--- 陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層) 基底面

撮影位置図



拡大写真(小段部 海側壁面)④(解釈線あり)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(9/14)) -



令和2年3月撮影

拡大写真(小段部 海側壁面)⑤(解釈線なし)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(10/14)) -

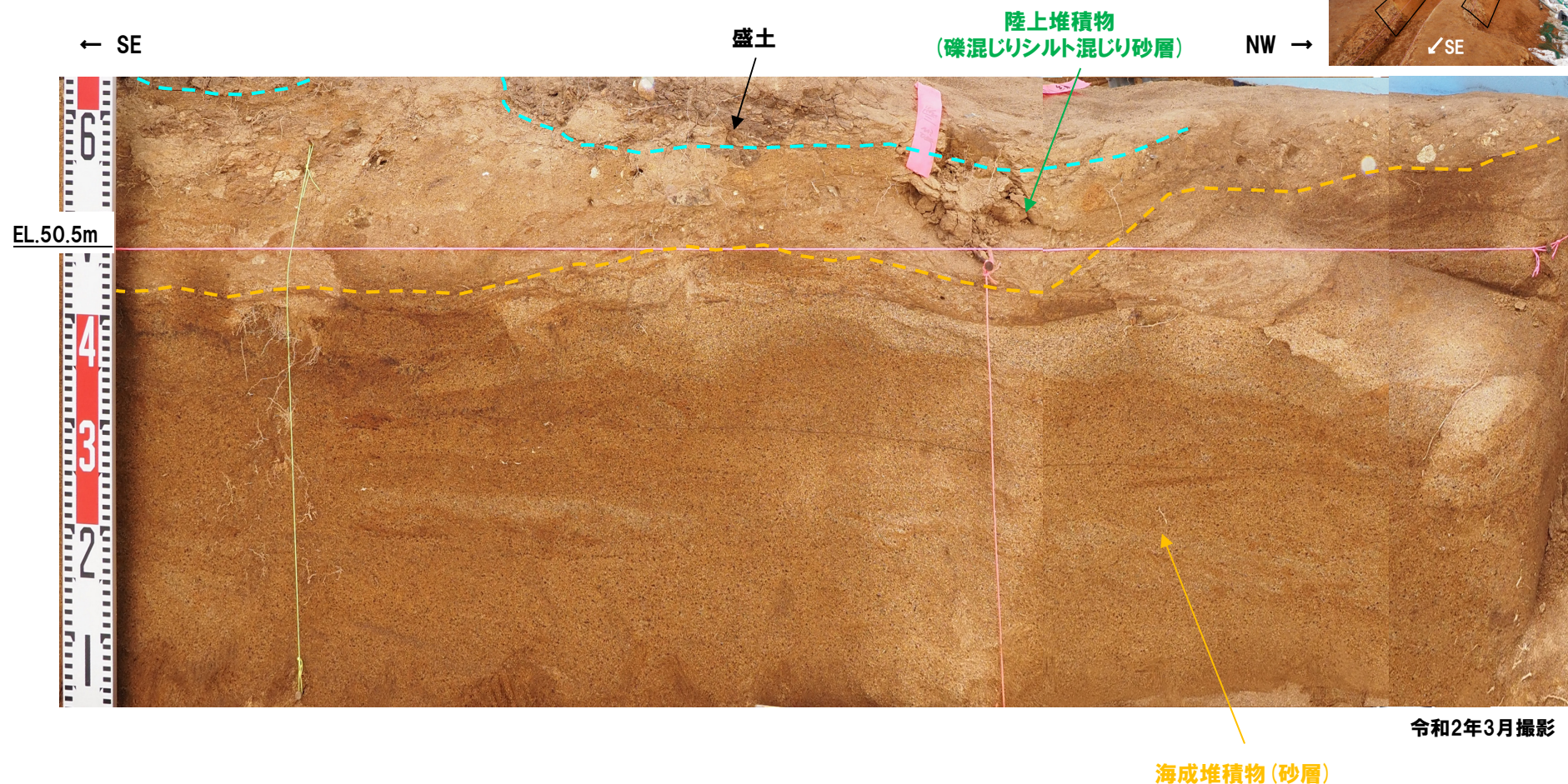
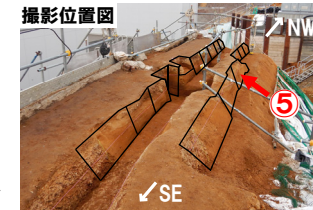
(凡 例)

- 盛土※基底面
- 陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)基底面

※盛土は陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)に比べ、以下の特徴が認められる。

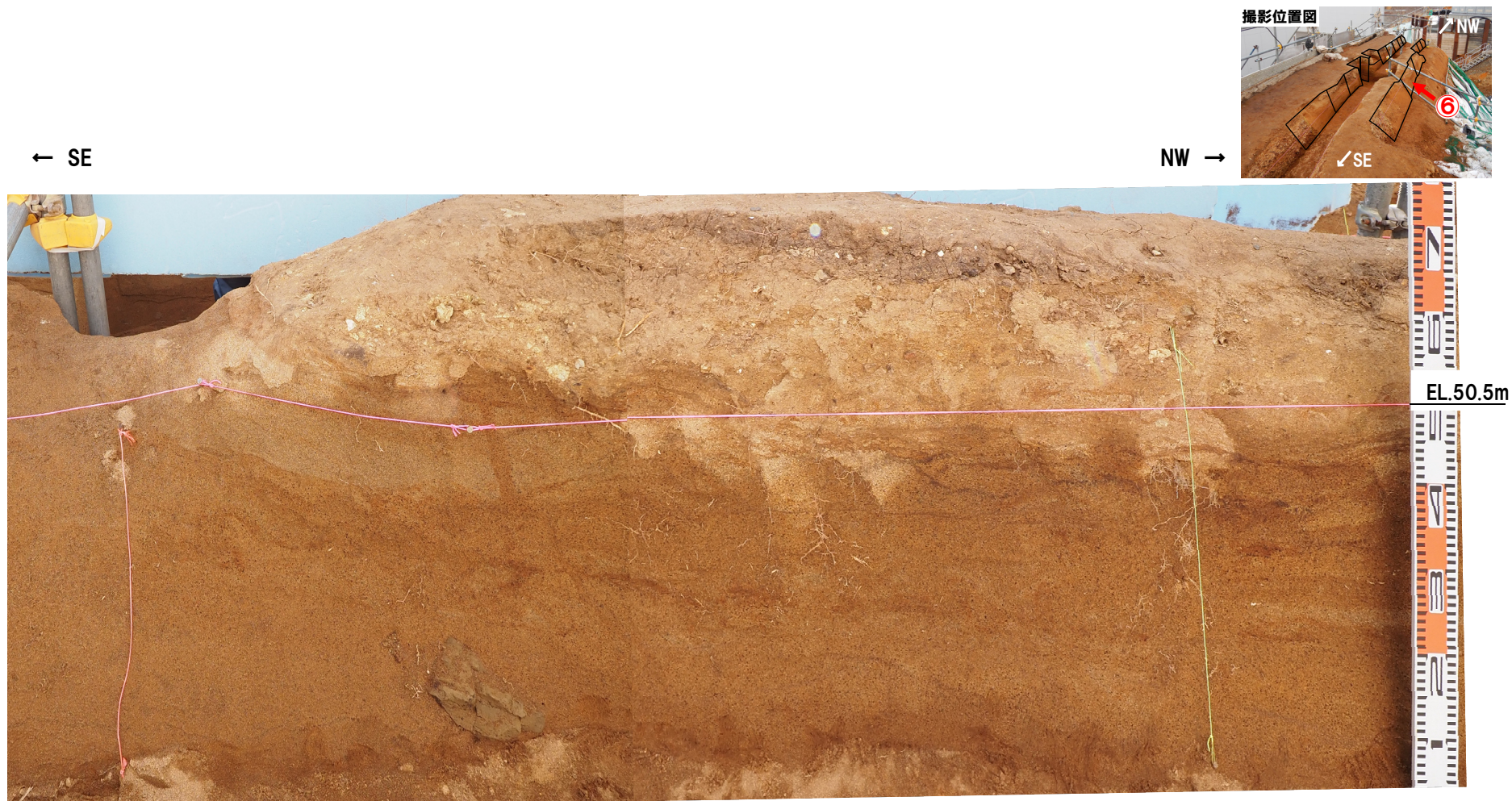
- ・シルトが比較的多い
- ・角礫が比較的多い(旧海食崖付近においては、差異は認められない)
- ・亀裂が発達する
- ・植物根が多く認められる

撮影位置図



拡大写真(小段部 海側壁面)⑤(解釈線あり)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(11/14))-



令和2年3月撮影

拡大写真(小段部 海側壁面)⑥(解釈線なし)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(12/14))-

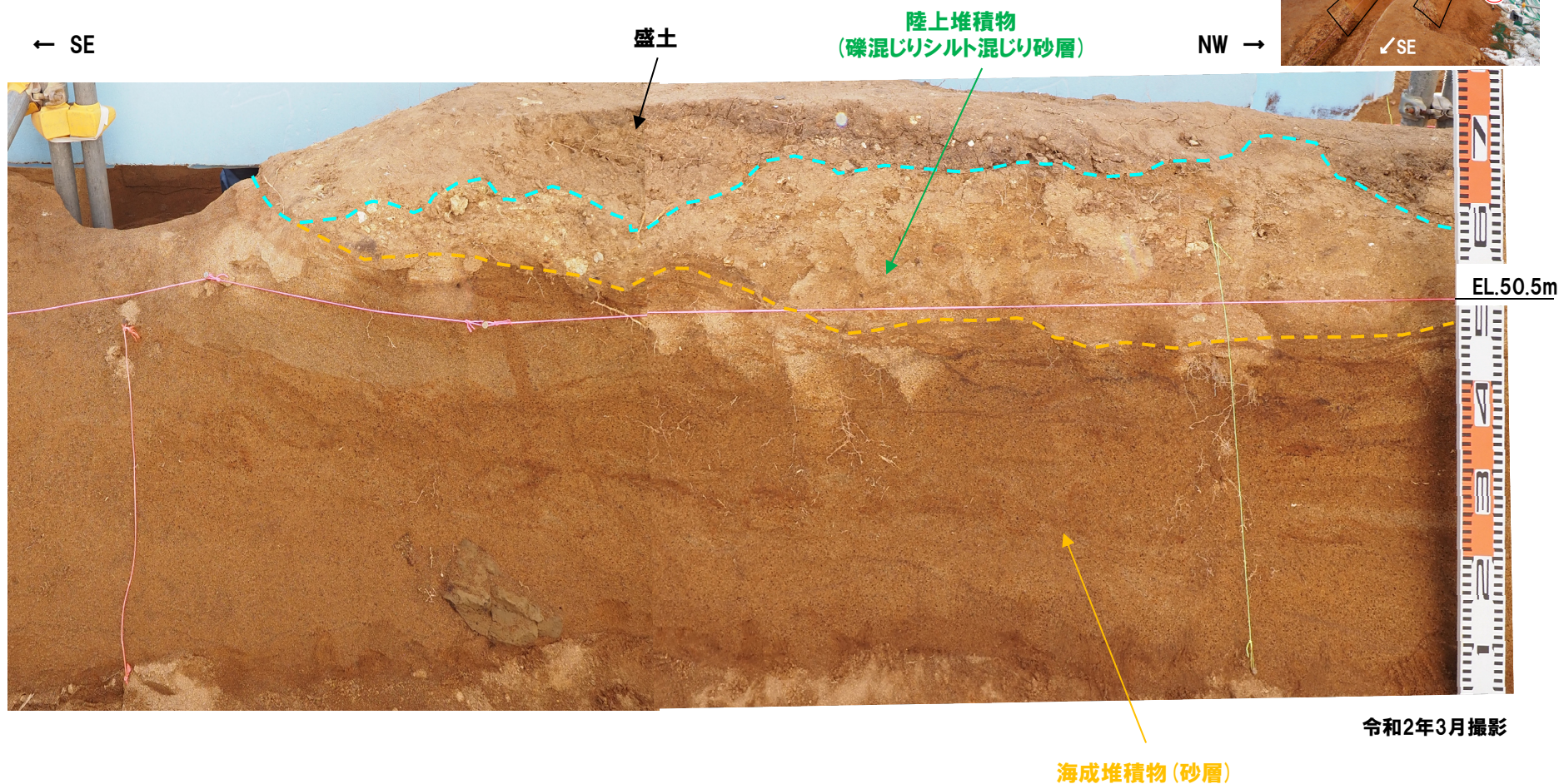
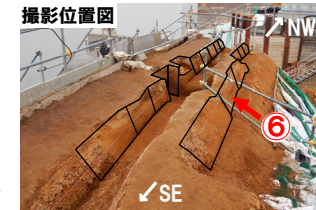
(凡 例)

- 盛土※基底面
 --- 陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)基底面

※盛土は陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)に比べ、以下の特徴が認められる。

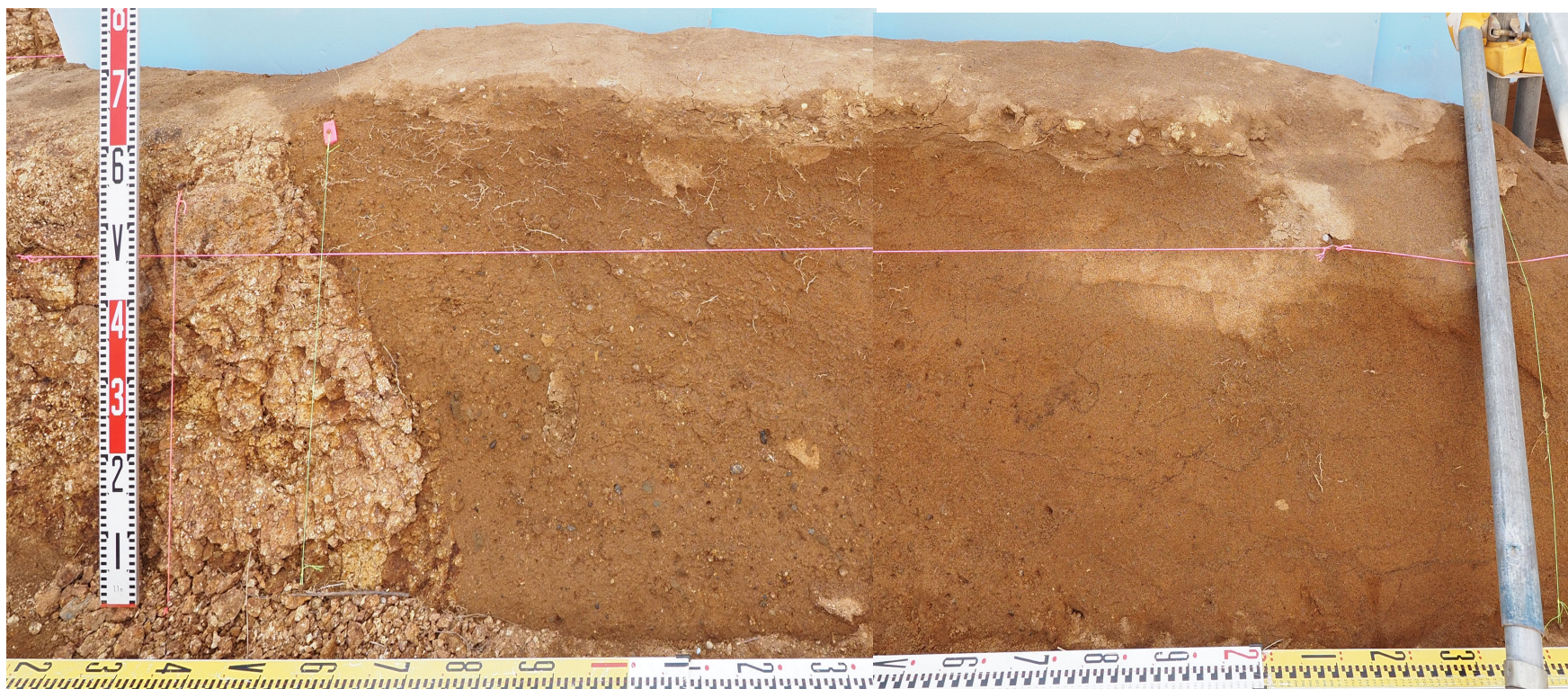
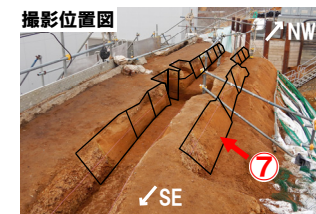
- ・シルトが比較的多い
- ・角礫が比較的多い(旧海食崖付近においては、差異は認められない)
- ・亀裂が発達する
- ・植物根が多く認められる

撮影位置図



拡大写真(小段部 海側壁面)⑥(解釈線あり)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(13/14))-



拡大写真(小段部 海側壁面)⑦(解釈線なし)

令和2年3月撮影

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(小段部 海側壁面(14/14)) -

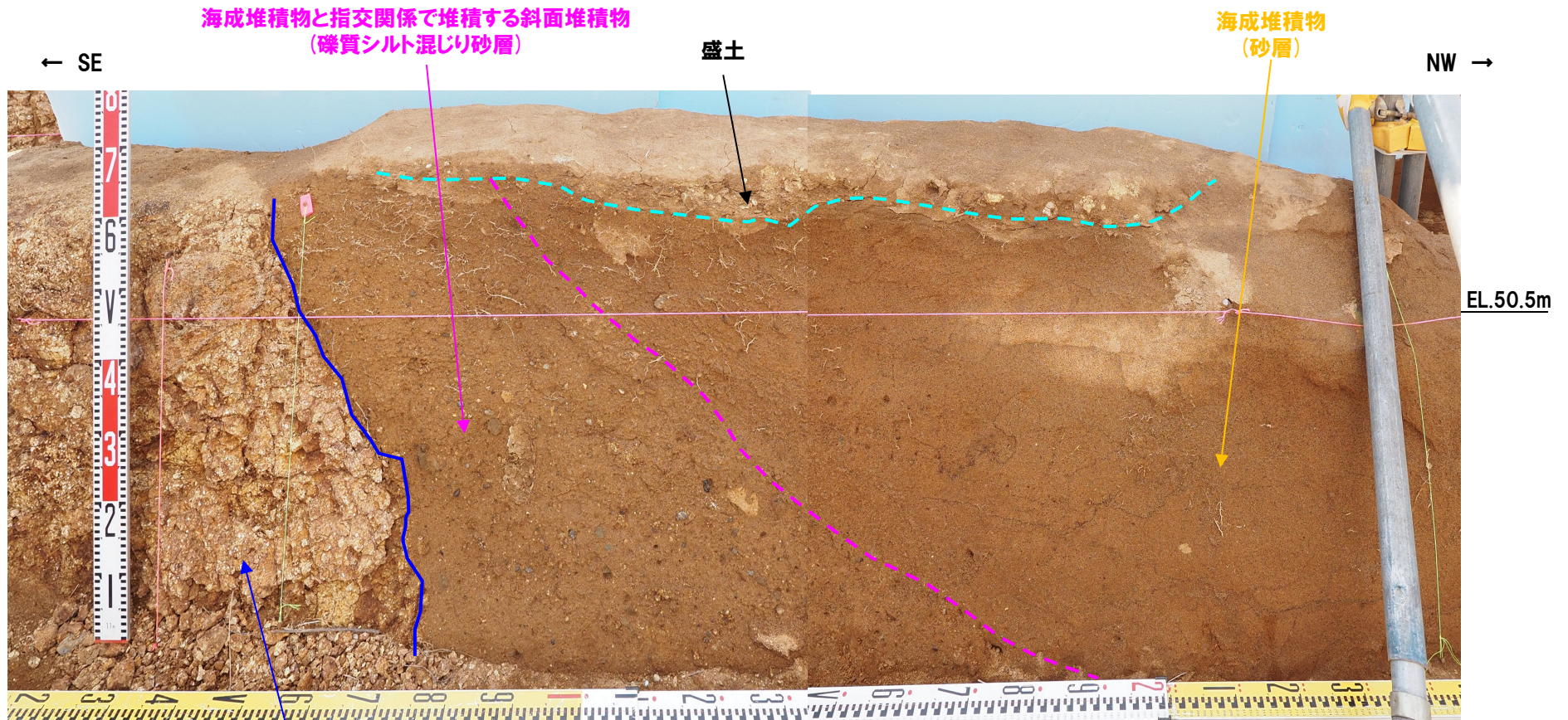
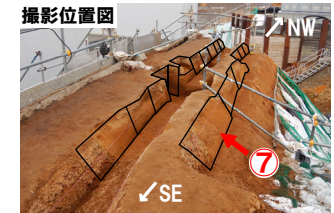
(凡 例)

- 盛土※基底面
- 海成堆積物と指交関係で堆積する斜面堆積物
(礫質シルト混じり砂層) 上面
- 旧海食崖

※盛土は陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)に比べ、以下の特徴が認められる。

- ・シルトが比較的多い
- ・角礫が比較的多い(旧海食崖付近においては、差異は認められない)
- ・亀裂が発達する
- ・植物根が多く認められる

撮影位置図



旧海食崖

拡大写真(小段部 海側壁面)⑦(解釈線あり)

令和2年3月撮影

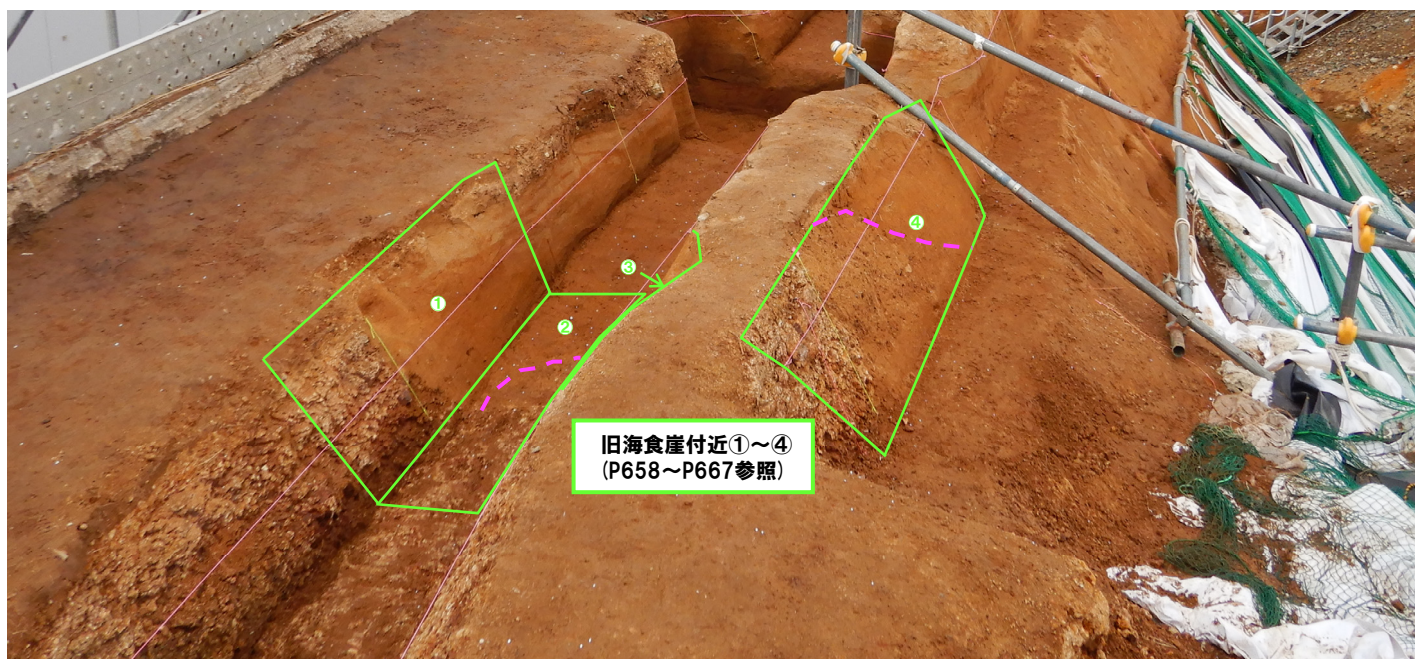
南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近 撮影位置図(1/2)) -

○P658～P667に示す各堆積物については、
4.3章において以下のユニット区分がなされる。
・陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)
⇒Ts3ユニット
・海成堆積物と指交関係で堆積する斜面堆積物(礫質シルト混じり砂層)
⇒Ts2ユニット
・海成堆積物(砂層)
⇒M1ユニット
○陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)の基底面については、
5.3.2章において詳述する「遷移部」を考慮し、設定している。

(凡 例)

--- 海成堆積物と指交関係で堆積する斜面堆積物
(礫質シルト混じり砂層) 上面

NW ↗



旧海食崖付近①～④
(P658～P667参照)

SE ↙

令和2年3月撮影

開削調査箇所(南側) 追加人力掘削調査 撮影位置図
(旧海食崖付近 山側から海側を望む)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近 撮影位置図(2/2))-

○P658～P667に示す各堆積物については、
4.3章において以下のユニット区分がなされる。
・陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)
⇒Ts3ユニット
・海成堆積物と指交関係で堆積する斜面堆積物(礫質シルト混じり砂層)
⇒Ts2ユニット
・海成堆積物(砂層)
⇒M1ユニット
○陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)の基底面については、
5.3.2章において詳述する「遷移部」を考慮し、設定している。

(凡 例)

--- 海成堆積物と指交関係で堆積する斜面堆積物
(礫質シルト混じり砂層) 上面

↖ NW



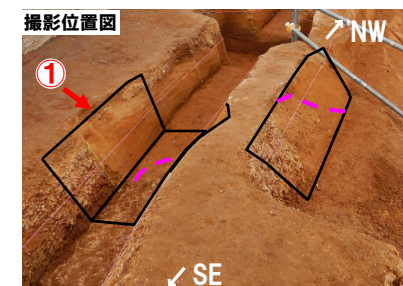
旧海食崖付近①～④
(P658～P667参照)

↘ SE

令和2年3月撮影

開削調査箇所(南側) 追加人力掘削調査 撮影位置図
(旧海食崖付近 海側から山側を望む)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近(1/8)) -



← SE

NW →



EL.50.5m

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近(2/8)) -

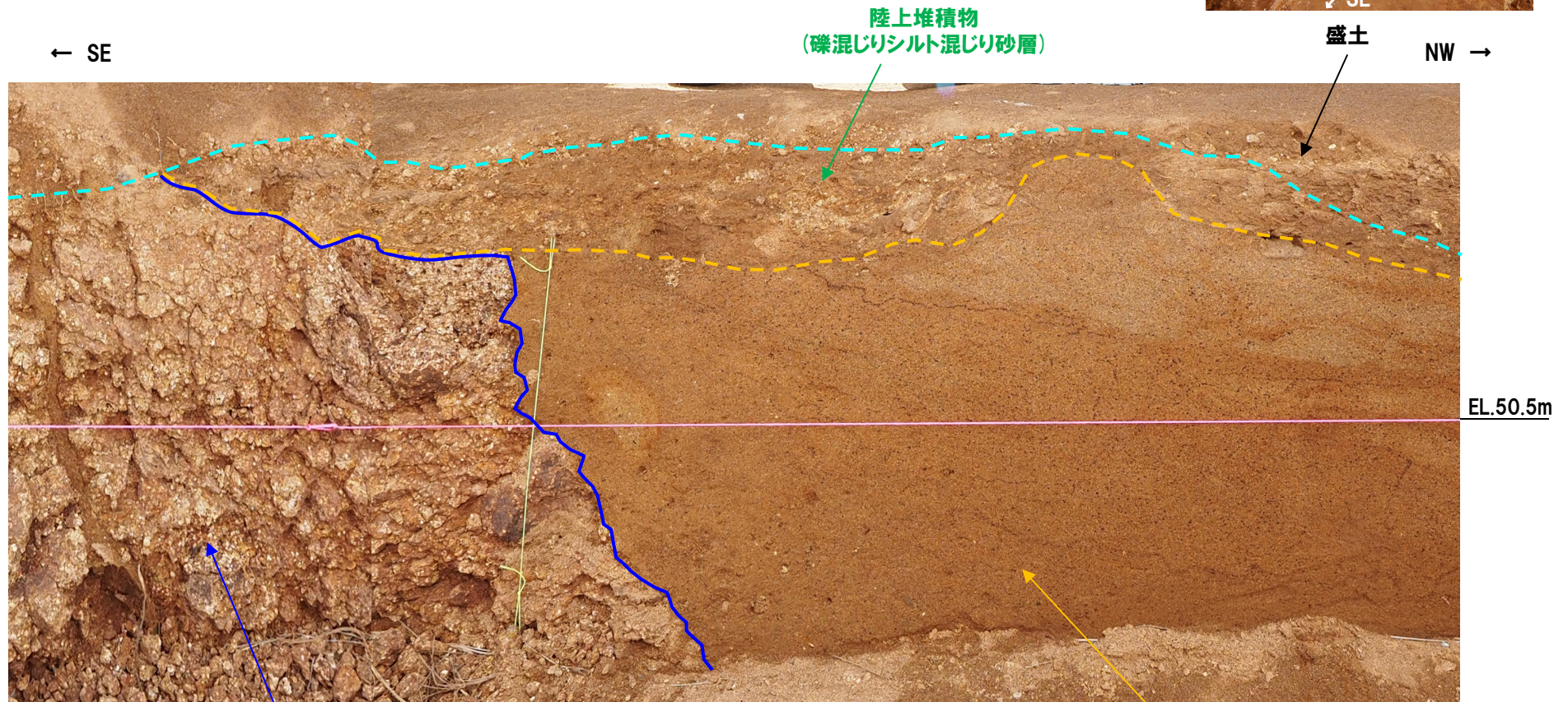
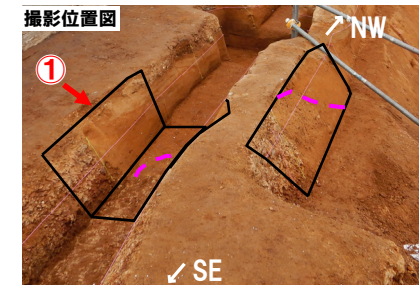
(凡 例)

- - - 盛土基底面*
- - - 陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層) 基底面
- 旧海食崖

※盛土は陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)に比べ、以下の特徴が認められる。

- ・シルトが比較的多い
- ・角礫が比較的多い(旧海食崖付近においては、差異は認められない)
- ・亀裂が発達する
- ・植物根が多く認められる

撮影位置図



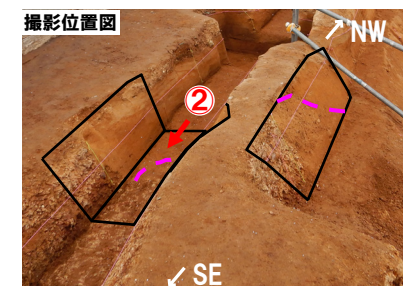
旧海食崖

拡大写真(旧海食崖付近)①(解釈線あり)(P613再掲)

海成堆積物(砂層)

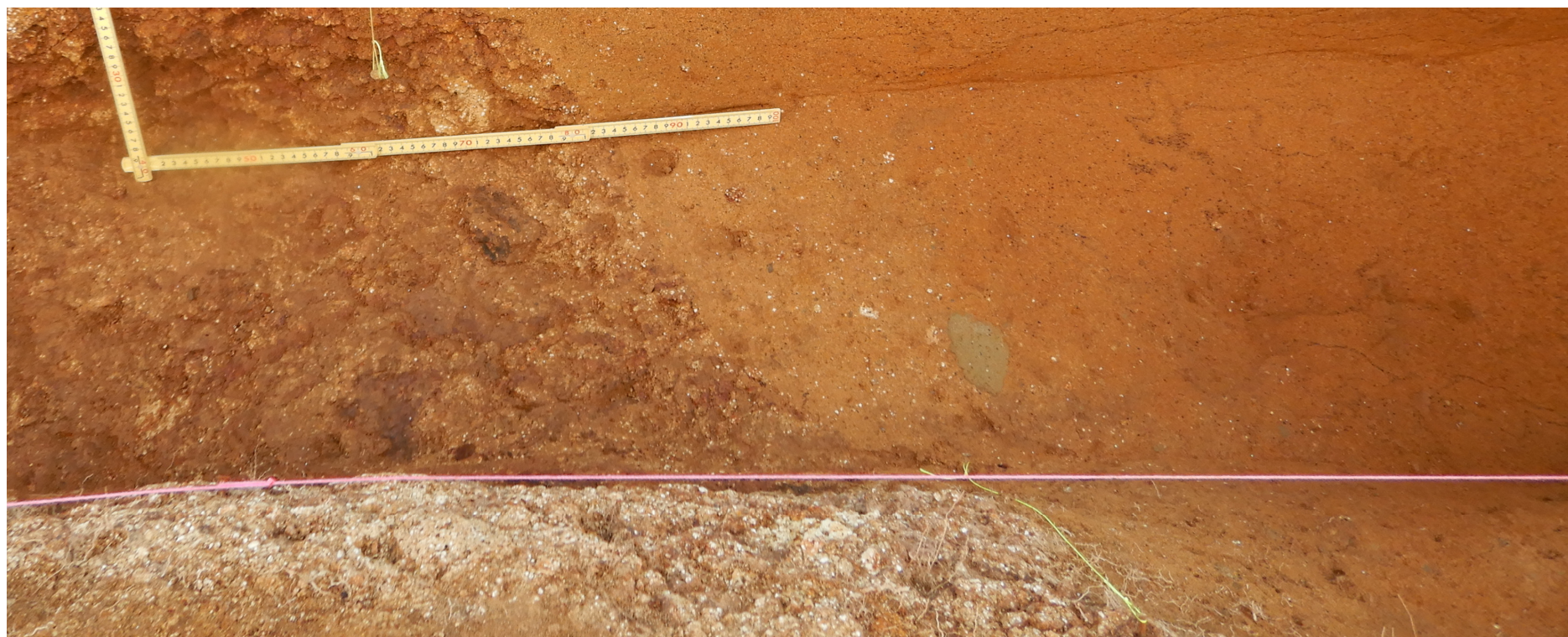
令和2年3月撮影

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近(3/8)) -



← SE

NW →



拡大写真(旧海食崖付近) ② (解釈線なし)

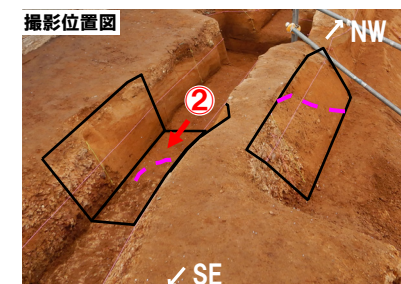
令和2年3月撮影

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近(4/8)) -

(凡 例)

- 海成堆積物と指交関係で堆積する斜面堆積物
(礫質シルト混じり砂層) 上面
- 旧海食崖

撮影位置図

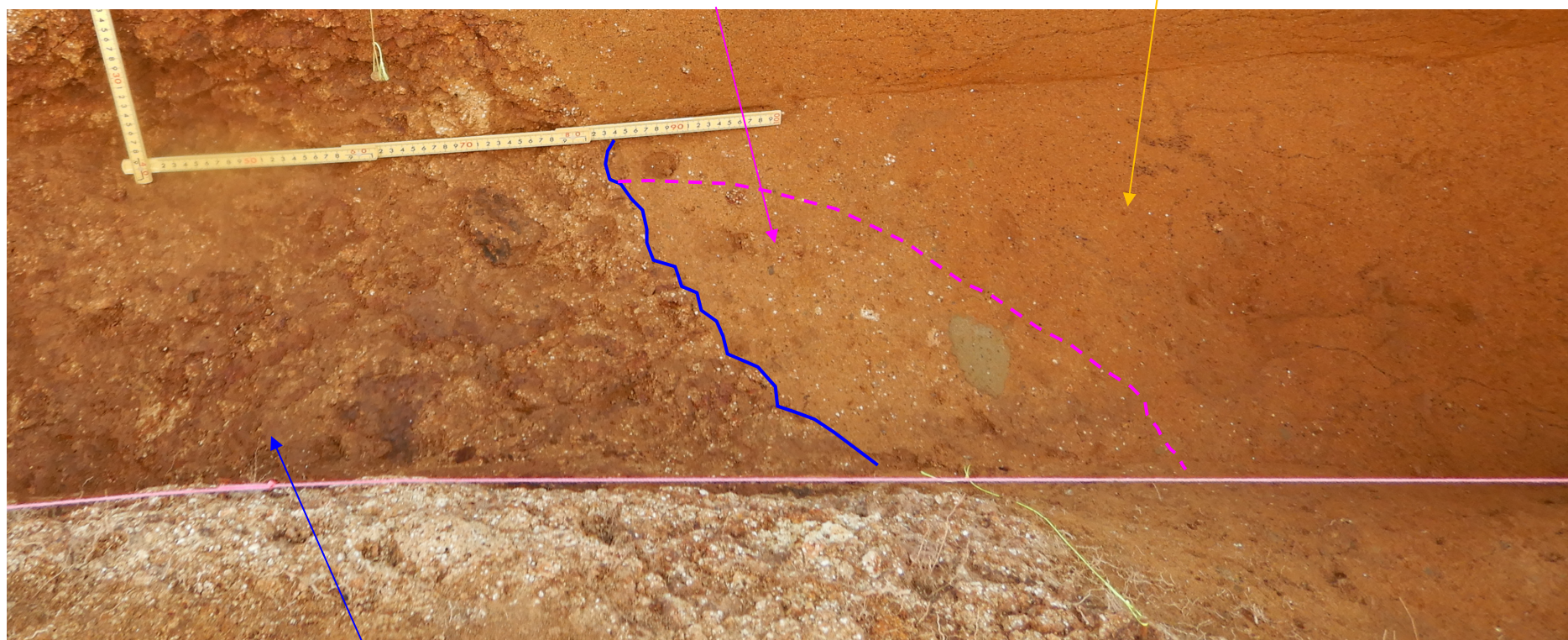


← SE

海成堆積物と指交関係で堆積する斜面堆積物
(礫質シルト混じり砂層)

海成堆積物(砂層)

NW →

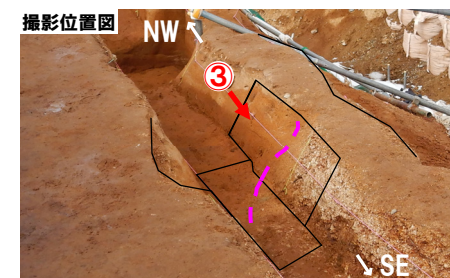


旧海食崖

拡大写真(旧海食崖付近) ② (解釈線あり)

令和2年3月撮影

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近(5/8)) -



← NW

SE →



令和2年3月撮影

拡大写真(旧海食崖付近)③(解釈線なし)(P638再掲)

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近(6/8)) -

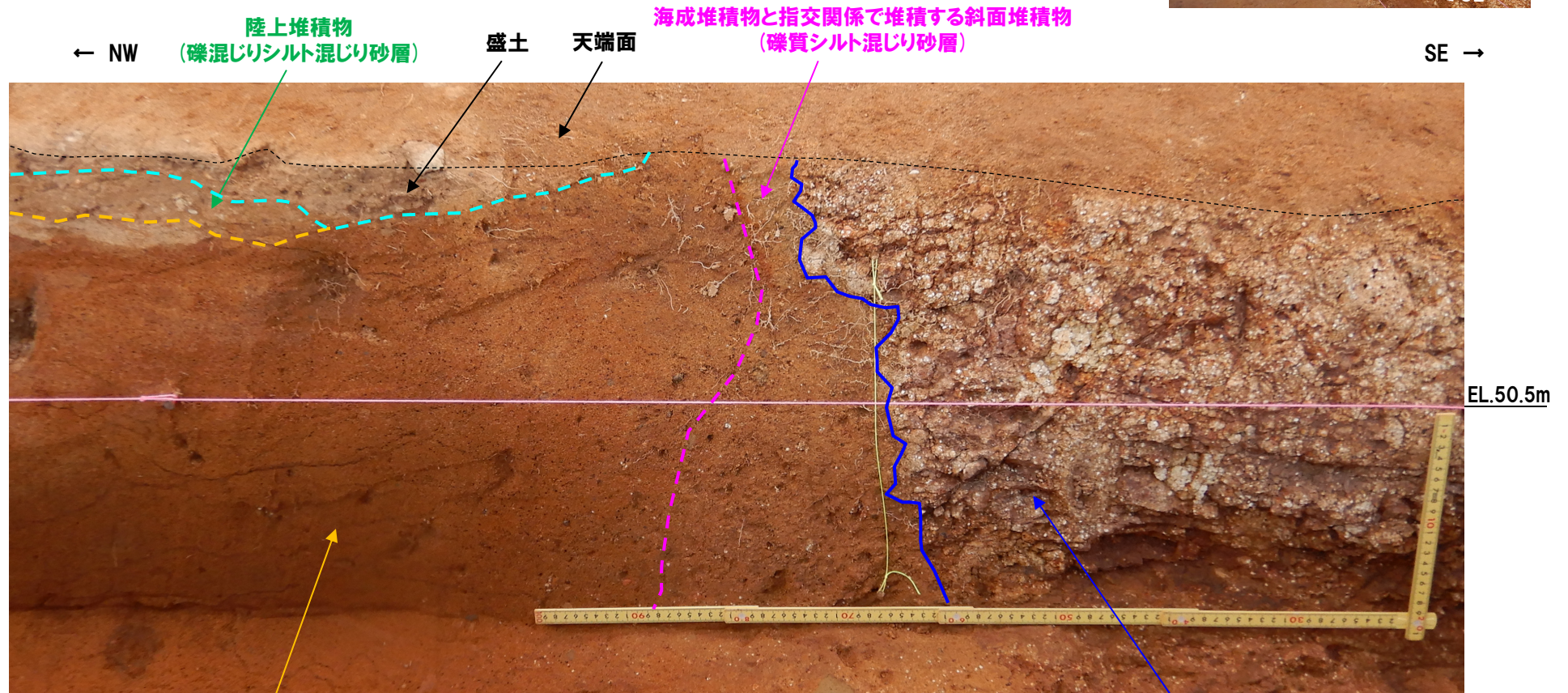
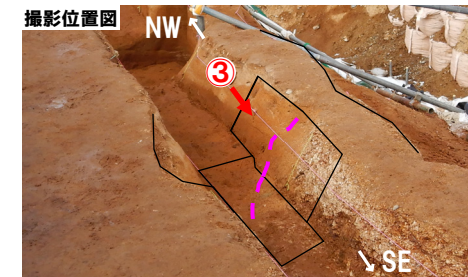
(凡 例)

- 盛土※基底面
- 陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層) 基底面
- 海成堆積物と指交関係で堆積する斜面堆積物(礫質シルト混じり砂層) 上面
- 旧海食崖

※盛土は陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)に比べ、以下の特徴が認められる。

- ・シルトが比較的多い
- ・角礫が比較的多い(旧海食崖付近においては、差異は認められない)
- ・亀裂が発達する
- ・植物根が多く認められる

撮影位置図



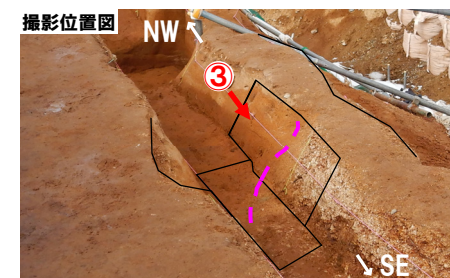
海成堆積物(砂層)

拡大写真(旧海食崖付近) ③(解釈線あり) (P639再掲)

旧海食崖

令和2年3月撮影

(補足) 南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近(5/8)) -



← NW

※1 令和2年3月撮影分の拡大写真において、
層相境界付近に乾燥した箇所が認められることから、再撮影を実施した。

SE →



令和2年4月再撮影※1

拡大写真(旧海食崖付近)③(解釈線なし)(P640再掲)

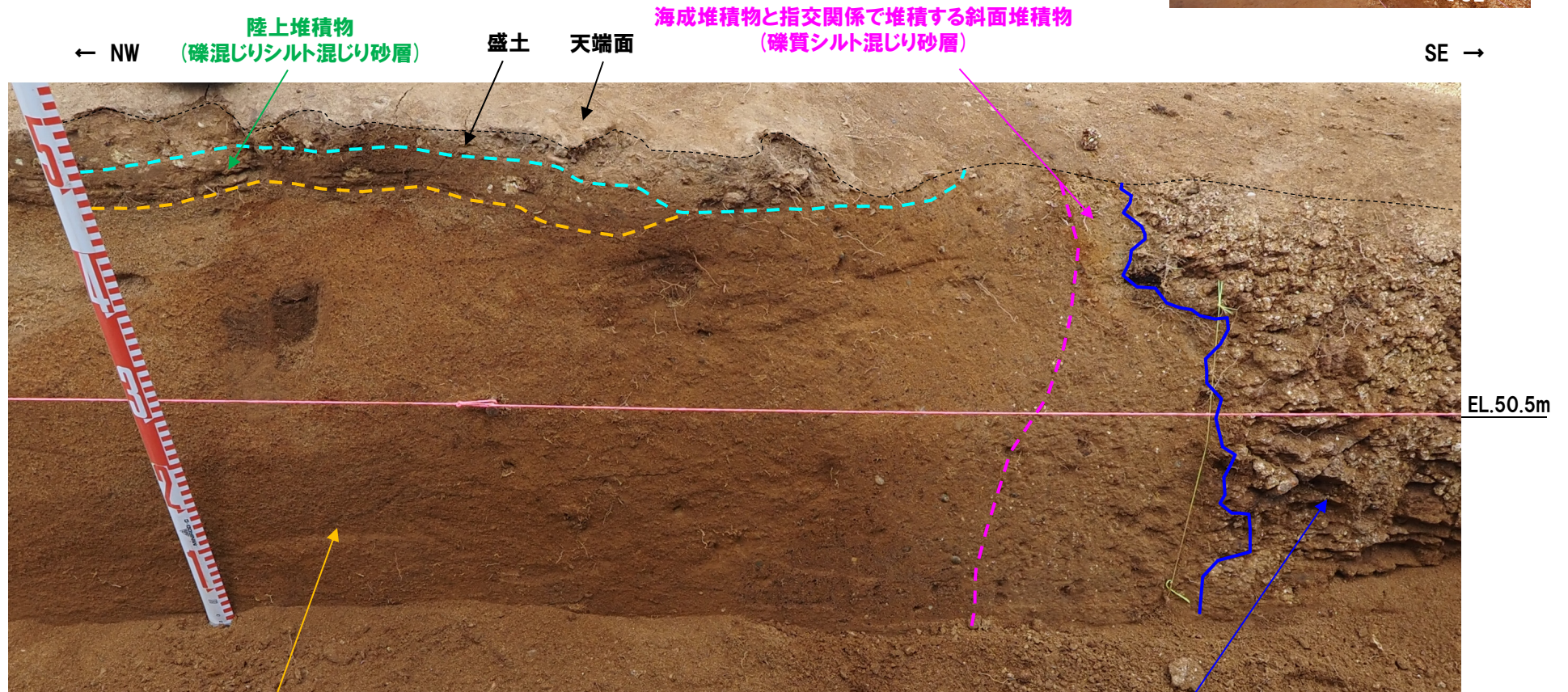
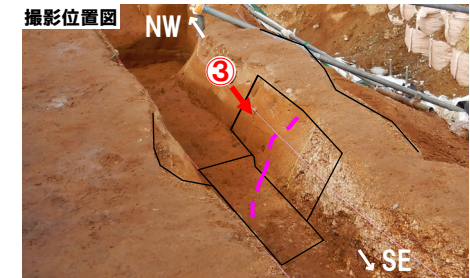
(補足) 南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近(6/8)) -

(凡 例)

- 盛土※2基底面
- 陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)基底面
- 海成堆積物と指交関係で堆積する斜面堆積物(礫質シルト混じり砂層)上面
- 旧海食崖

※2 盛土は陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)に比べ、以下の特徴が認められる。

- ・シルトが比較的多い
- ・角礫が比較的多い(旧海食崖付近においては、差異は認められない)
- ・亀裂が発達する
- ・植物根が多く認められる



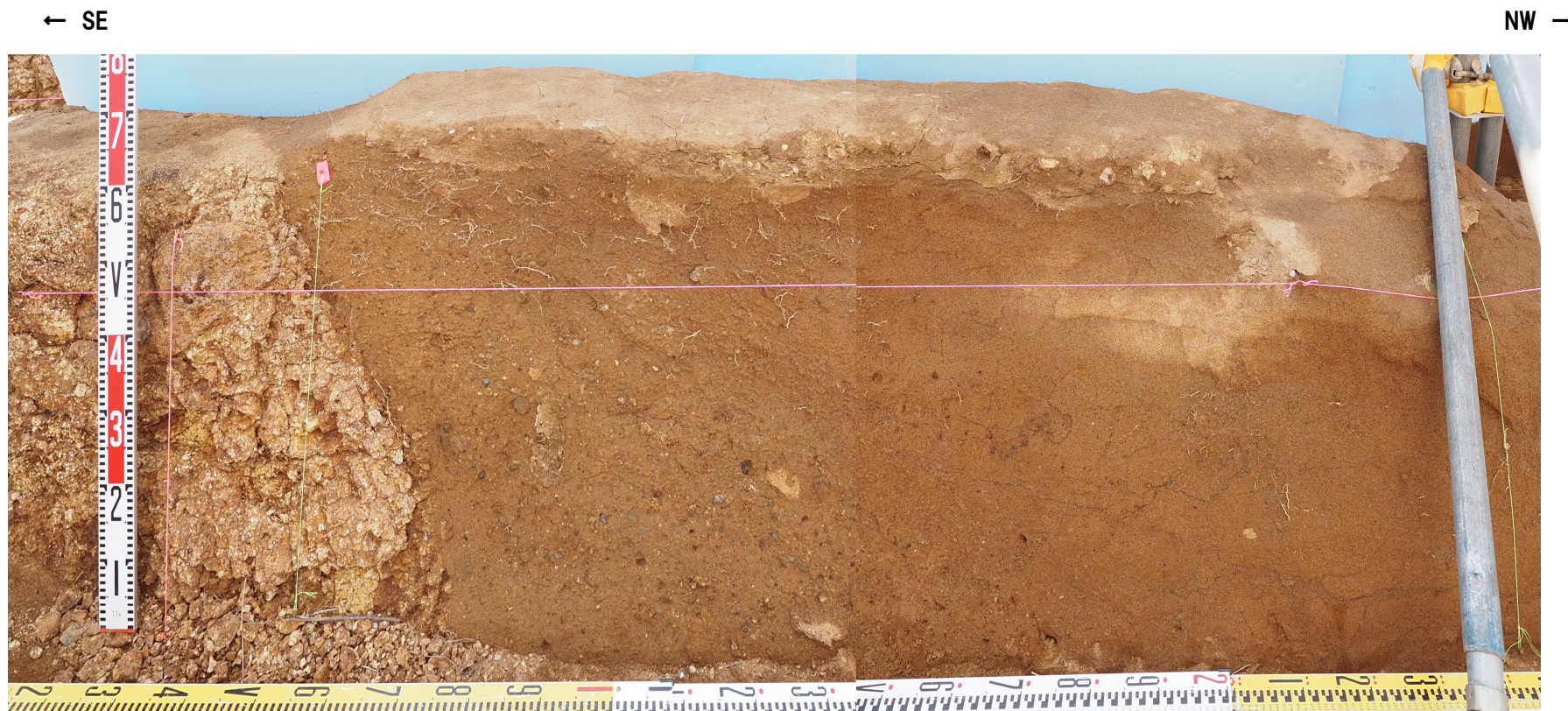
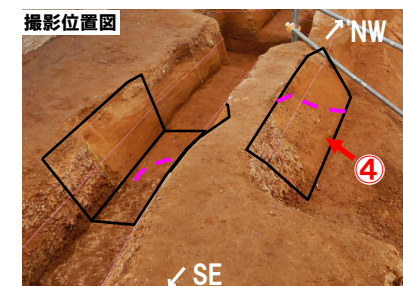
海成堆積物(砂層)

拡大写真(旧海食崖付近)③(解釈線あり)(P641再掲)

旧海食崖

令和2年4月再撮影※1

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近(7/8)) -



拡大写真(旧海食崖付近)④(解釈線なし)(P654再掲)

令和2年3月撮影

南側壁面の背後法面 露頭写真-人力掘削調査範囲(旧海食崖付近(8/8)) -

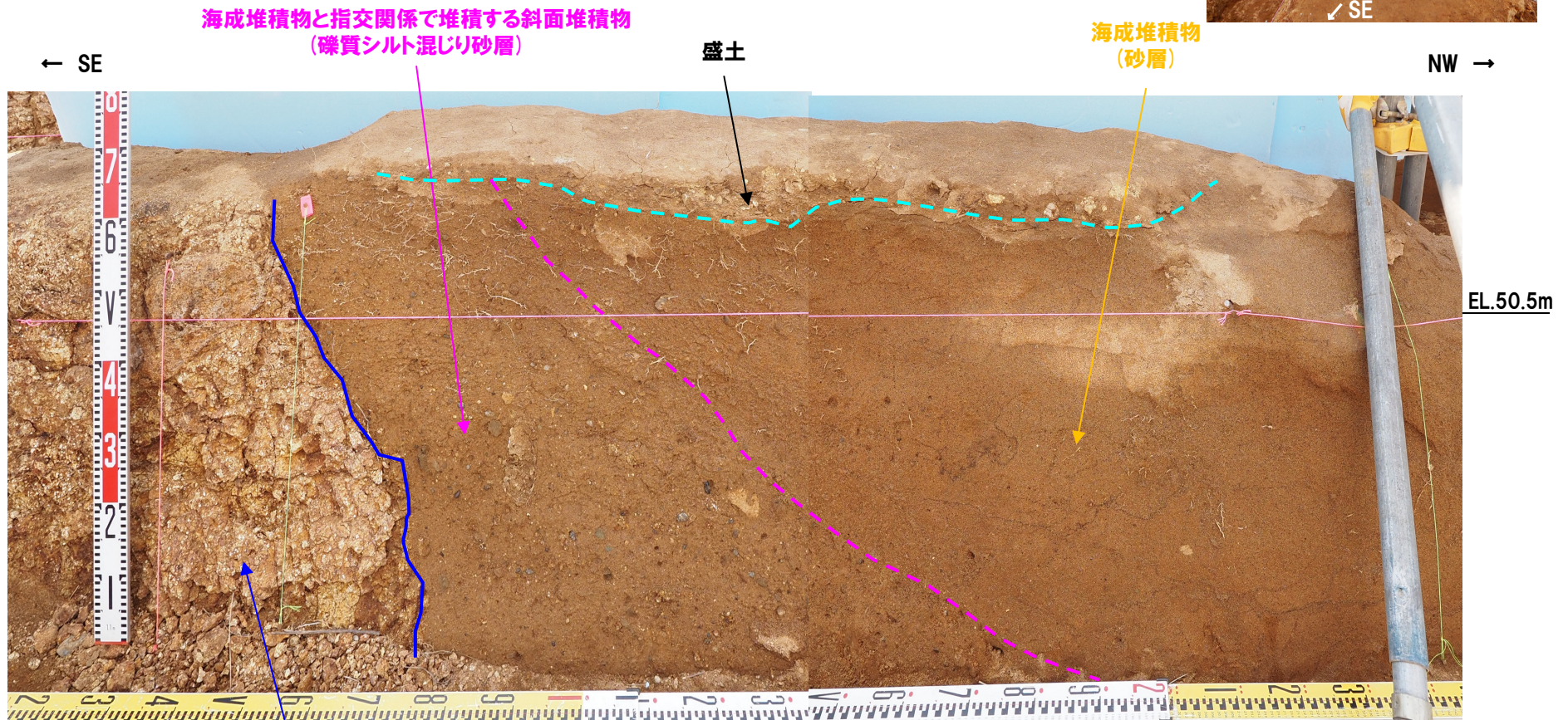
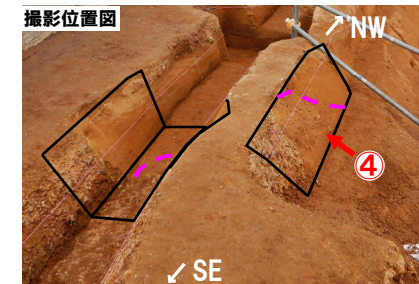
(凡 例)

- 盛土※基底面
- 海成堆積物と指交関係で堆積する斜面堆積物
(礫質シルト混じり砂層) 上面
- 旧海食崖

※盛土は陸上堆積物(礫混じりシルト混じり砂層)に比べ、以下の特徴が認められる。

- ・シルトが比較的多い
- ・角礫が比較的多い(旧海食崖付近においては、差異は認められない)
- ・亀裂が発達する
- ・植物根が多く認められる

撮影位置図



旧海食崖

拡大写真(旧海食崖付近)④(解釈線あり)(P655再掲)

令和2年3月撮影

- (1) 小池一之・町田洋編 (2001) : 日本の海成段丘アトラス, 東京大学出版会.
- (2) Siddall, M., Chappell, J., Potter E. K (2006) : Eustatic sea level during past interglacials, Sirocko, F., Litt, T., Claussen, M., Sanchez-Goni, M. F. editors. The climate of past interglacials, Elsevier, Amsterdam, pp.75-92.
- (3) Krumbein, W. C. (1941) : Measurement and geologic significance of shape and roundness of sedimentary particles. *Journal of Sedimentary Petrology* 11 (2), pp.64-72.
- (4) 町田洋・新井房夫 (2011) : 新編 火山灰アトラス [日本列島とその周辺], 東京大学出版会.
- (5) 青木かおり・町田洋 (2006) : 日本に分布する第四紀後期広域テフラの主元素組成-K₂O-TiO₂図によるテフラの識別, 地質調査研究報告 57 (7/8), pp.239-258.
- (6) 狩野謙一・村田明広 (1998) : 構造地質学, 朝倉書店.
- (7) 地学団体研究会編 (1996) : 新版 地学辞典, 平凡社.
- (8) 上田圭一・谷和夫 (1999) : 基盤の断層変位に伴う第四紀層及び地表の変形状況の検討 (その2) -正断層, 逆断層模型実験-, 電力中央研究所報告 U98048.
- (9) 加藤碩一 (2010) : 地震と活断層の科学 (普及版), 朝倉書店.

(WEB)

- (10) ImageJ : <http://imagej.nih.gov/ij/>